



いいもの成らせるさくらんぼ便り

バッチリ仕上げるさくらんぼ通信

Vol. 3 今年も高温予報！対策を徹底し、ロスなくもぎきろう

- ◆ 現在の生育は、前年より2日、平年より7日程度早まっている
- ◆ 今年の6月も高温予報！高温に対応した栽培管理を徹底し、ロスなくもぎきろう！

基本的な対応

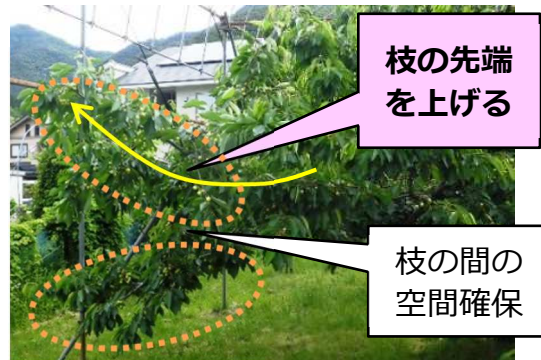
- 反射シート**
 - ・ 5月末～6月初旬（収穫2～3週間前）に早めに設置
 - ・ 白色シートを利用
- 葉摘み**
 - ・ 樹の外周部や上部は、葉摘みしない
 - ・ 樹の内部や下部は、マメ葉を中心に最小限の葉摘み
- 収穫**
 - ・ 早期収穫、すぐりもぎを徹底

- ◆ 果樹カメムシ類の発生が例年よりも多いため、防除対策を徹底しよう

1 着色管理

(1) 枝吊り・誘引は、新梢管理・葉摘み前に実施

- ◆ 枝吊り・誘引を行い、枝と枝の間隔をあげ、果実に光が当たりやすいようにする

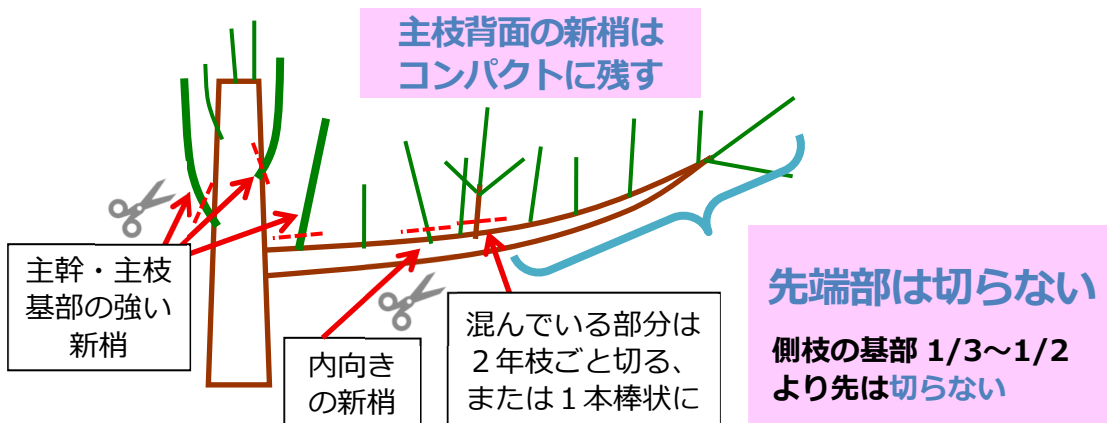


枝の先端を上げる

枝の間の空間確保

(2) 新梢管理はメリハリをつけて

- ◆ 薬剤を到達しやすくするため、樹冠内部は混んでいる部分を中心に新梢を切る
- ◆ 高温対策のため、樹上部や樹冠外周部は基本的に新梢を切らない
- ※注意：樹勢が弱い樹では、新梢を切らない



(3) 反射シートは**早めに設置**

◆ 6月は高温予報のため、**例年よりも早めに設置し、早めに除去する**

- 着色始期頃（収穫 2～3 週間前頃）から設置
- 果実温が高まりにくい**白色シート**がオススメ
- 高温が続く場合は**速やかに除去**



↑ 白色シート設置

(4) 葉摘みは**最小限に！**

◆ 高温対策のため、樹勢や部位に応じてメリハリをつける

→ 弱樹勢、樹の外周部や樹上部：**葉摘みしない**

→ 樹の内部や樹下部：**マメ葉を中心に最小限の葉摘み**

- 短果枝当たり大きい葉を**4枚以上残す！ 摘み過ぎは高温障害を助長！**



【摘み取る葉】

- ・果実に覆いかぶさる葉
- ・葉柄が短く小さい葉（マメ葉）
- ・果実の間に挟まる葉

(5) 修正摘果 ～「紅秀峰」は要確認～

- 着果過多の樹や部位は、**修正摘果！**

優先して
摘果する果実

- ・双子果（着果が少ない場合は摘果しない）
- ・小さい果実
- ・果実同士が接触しているもの

※摘果した果実は、**病害虫の発生源**。放置しない！



2 防除 ～**遅れない・間隔があかないように注意！**～

- 果樹カメムシ類対策【例年よりも発生が多い】**
 - ・成虫の寄生や卵塊、被害果を確認したら、**速やかに捕殺し、薬剤散布**
- 灰星病の重点防除時期**：収穫前・使用回数を確認して、定期的に防除
- ショウジョウバエ類対策**
 - ・高温時には急増する場合があるため定期的に防除

3 かん水(着色期～収穫期)

- 乾燥時は**3～4日おきに少量**かん水（1～2t/10a、1樹100L程度）

さくらんぼ作業中の事故が多発！！

注意！

- 脚立は**チェーン**を掛ける！**天板には立たない！**
- 危険な作業は二人以上**で、携帯電話を**忘れずに！**
- 暑さが続くので、**熱中症に注意！**